

爽やかな明日をめざして！

青空とメトロ 東西線



延 1964-1969

びる

50th
TOZAI LINE

1964年12月、高田馬場・九段下間で
開業した東西線は、
2014年で開業50周年を迎えます。

東西線の原形となる「地下鉄5号線」が計画されたのは1925年。池袋から飯田橋、大手町を通り、洲崎（現在の東陽町付近）へと至る構想でした。

戦後、計画を再検討した結果、東西線は中野から東陽町を經由し西船橋まで至る路線に改められ、中野で国鉄（現JR）中央線と、西船橋で国鉄総武線と相互直通運転をすることになりました。

これは当時非常に混雑していた中央線・総武線のバイパス線として、国鉄線に沿って東西をつなぐ路線が必要とされたからです。東陽町・西船橋間は農村・漁村が広がる静かな田園地帯だったため「地下鉄」ながら地下トンネルではなく、高架線で建設されました。（2ページ上写真参照）

1969年3月に中野・西船橋間が全通し、地下鉄で初めて最高速度



100km/hの快速運転が開始されます。西船橋・日本橋間が最短20分で結ばれ、千葉方面から都心方面への利便性が劇的に向上しました。東西線沿線が住宅地として急成長するのはもう少し後の時代のことです。

◀中野駅付近で中央線と並走する
東西線電車（1969年）



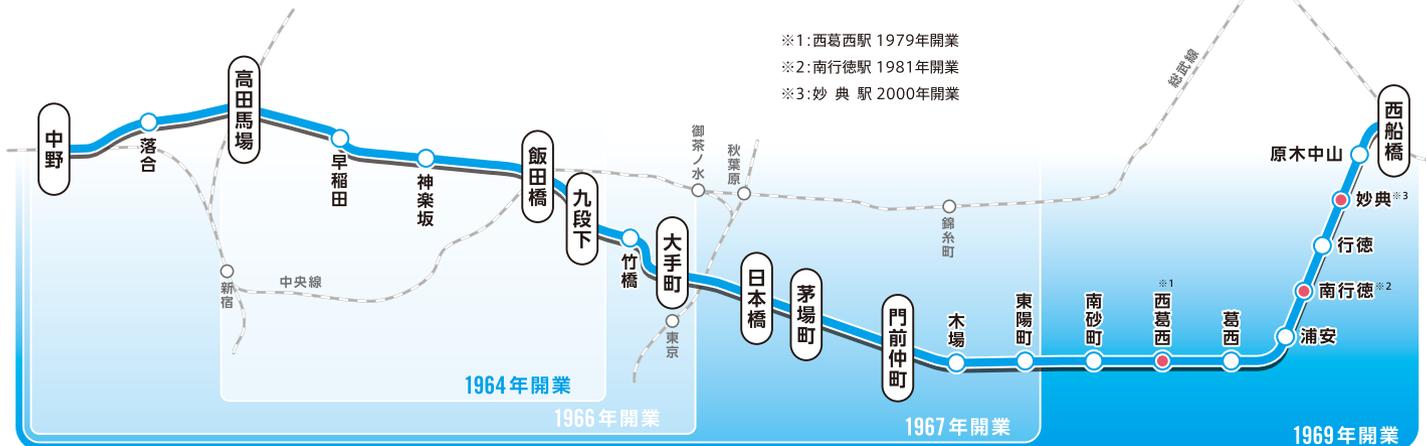
▲建設中の行徳駅付近の様子（1960年代）

●地下鉄をどこから入れようか？

最初に開業した、高田馬場・九段下間は線路が地上と繋がっていなかったため、開業時に使用する車両は竹橋付近に設けられた開口部から2台のクレーンで吊り降ろされました。18両を搬入するのに1か月半かかりました。



- ※1: 西葛西駅 1979年開業
- ※2: 南行徳駅 1981年開業
- ※3: 妙典駅 2000年開業



増える 1969-2000



▲1979年開業時の西葛西駅。表紙写真（現在の西葛西駅周辺）と比較すると街の発展がよく分かります。

東西線の取組み 1969年～2000年

1969	3月	東陽町・西船橋間開業（全線開業）	
	4月	国鉄総武線への乗り入れを開始	
1975	6月	一部の「快速」を浦安駅に停車	
1977	10月	一部の列車を10両編成化	
1979	10月	南砂町・葛西間に「西葛西駅」新設	
1981	3月	浦安・行徳間に「南行徳駅」新設	
1986	11月	浦安以西各駅に停車する快速「(現)通勤快速」を設定	
1991	12月	全ての列車を10両編成化	
1996	3月	全ての「快速」を浦安駅に停車	
	4月	「東葉高速鉄道」が開業し、相互直通運転開始	
2000	1月	行徳・原木中山間に「妙典駅」新設	

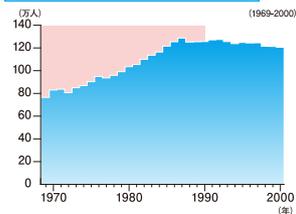
▲上から西葛西駅、南行徳駅、妙典駅の開業パンフレット



▲工事中の妙典駅（1999年）

1969年、東西線が西船橋まで全線開業し、総武線との直通運転が始まります。当初は総武線からの直通利用の方が多数を占めていましたが、都心へのアクセスの良さからすぐに沿線の開発が進みます。1969年から30年間で東西線の輸送人員は倍増しました。

東西線利用者の変化（1日平均）



千葉方面から都心に向かうお客様のために設定された「快速」も、沿線利用者の利便性向上のために停車駅を拡大。列車を10両編成化するなど輸送力増強を進めてきました。

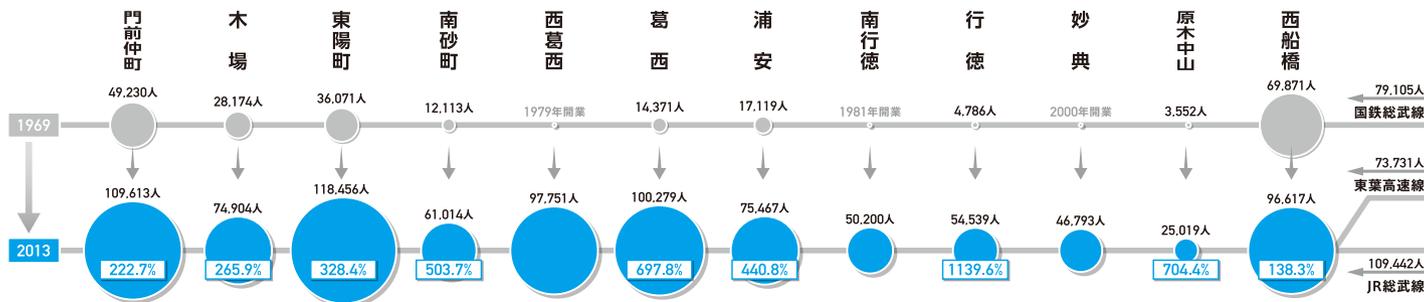
また沿線人口の拡大に伴い、駅間の長い区間に新駅が開業しました。1979年には南砂町・葛西間に「西葛西駅」が、1981年には浦安・行徳間に「南行徳駅」が設置されます。

1990年代以降も、東葉高速鉄道との相互直通運転開始や、東西線3番目の新駅となる「妙典駅」の設置など、東西線とその沿線の発展は続きました。

◀工事中の西葛西駅
当時もっとも駅間距離が長かった南砂町・葛西間に設置された西葛西駅。開業時（1979年）の1日平均の乗降人数は約18,000人でしたが、2000年には約95,000人と爆発的な伸びを見せました。



1969年と2013年の門前仲町・西船橋間駅別乗降人員の変化（1日平均）



守る 2000-2013

50th
TOZAI LINE

「1秒」を守り、遅延の発生を抑える。
定時運行・安定輸送に
東西線は取り組んでいます。

お客様が増加して列車の本数が増えると、遅延の影響はますます大きくなります。たとえば列車が1駅5秒ずつ遅れると、全23駅で約2分の遅延となってしまいます。また、その遅れは後続の列車にも影響してしまうため、東京メトロではさまざまな遅延・混雑対策に取り組んできました。

東西線の取組み 2000年～2013年

2000	「西葛西駅」改良工事完成 ホーム・コンコースを拡幅し、混雑を緩和
2004	「東陽町駅」改良工事完成 ホームを拡幅し、混雑を緩和
2007	信号システムを更新し新CS-ATC化 列車の間隔をつめ、遅延が波及しにくい信号システムに更新
2007	最混雑時間帯の快速を「通勤快速」化 葛西駅・西葛西駅・南砂町駅に停車する列車を増やして混雑を平準化
2007	オフピークキャンペーンの開始 最混雑時間帯を避けた乗車を呼びかける「東西線早起きキャンペーン」を開始
2008	輸送力増強のため車両を増備 有楽町線から07系を転属させ車両を増備
2009	朝の快速(中野方面)全列車を「通勤快速」化 朝ラッシュ時、全ての列車が浦安駅から各駅に停車
2009	ホーム整理員の増員 ホーム整理員を増員し、スムーズな乗降を促進
2009	「門前仲町駅」停車位置を変更 ホーム上の流動を改善するために中野方面行き列車の停車位置を変更
2010	新型車両15000系の導入 全ての扉をワイド化した新型車両15000系を13編成130両導入
2013	「門前仲町駅」改良工事完成 ホーム上の流動のさらなる改善のためホーム(中野方面)を拡幅



▲ホーム整理員(門前仲町駅)

ご存知ですか? 「東西線早起きキャンペーン」

東京メトロでは東西線の朝ラッシュ時間の混雑緩和対策の一環として、2007年から毎年冬季に「東西線早起きキャンペーン」を実施しています。このキャンペーンは「オフピーク通勤・通学」を推奨するもので、キャンペーン終了後、獲得したメダル数に応じてギフトカードなどをプレゼントいたします。

詳しくは「早分かりハンドブック」をご覧ください
西船橋駅を除く、東葉勝田台駅から落合駅で配布



比較のスムーズにご乗車いただけます。



車内では身動きが取れず、ドアを開めるのもやっとです。

乗降をスムーズにするワイドドア車両



ワイドドア車両なら4人同時に乗降できます。

進める

さらなる遅延防止対策・東西線は大規模な改良

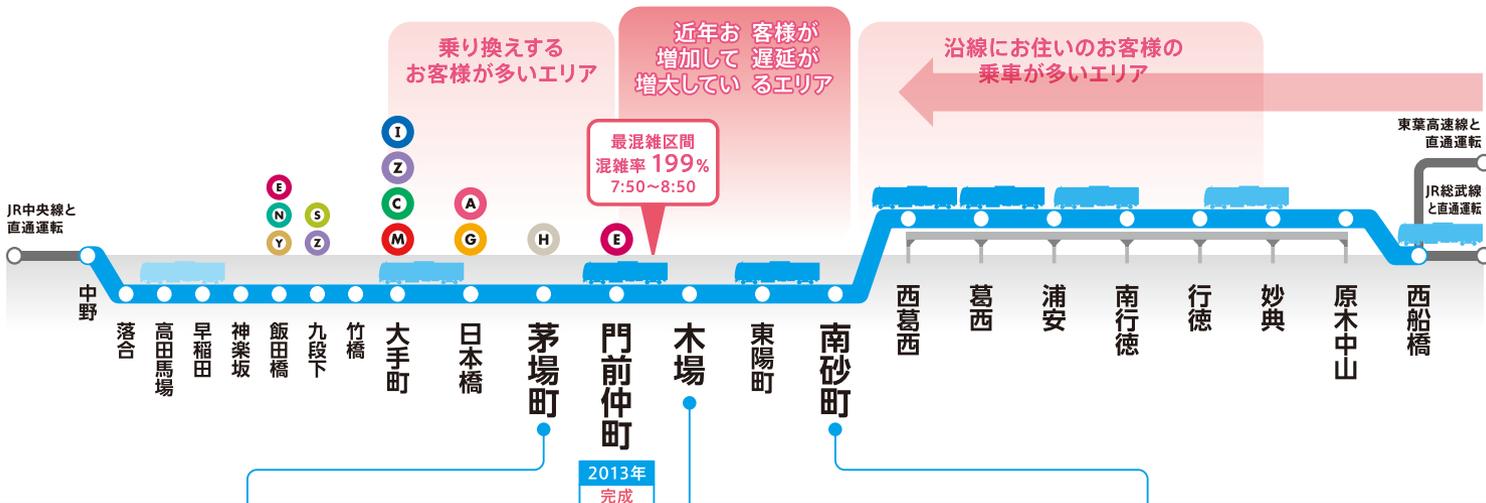
混雑緩和のために、2014-2020 工事を実施します。

都心回帰・再開発でお客様が増加している南砂町駅・木場駅と、乗換駅の茅場町駅で改良工事を行います。既に工事が完了した門前仲町駅とあわせて、このエリアの遅延を解消する工事を進めてまいります。

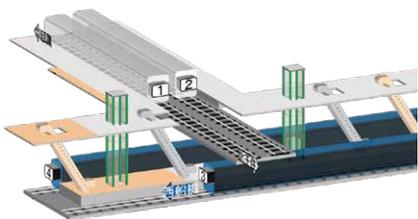
混雑率と乗り心地の関係 国土交通省鉄道局監修「数字でみる鉄道2014」

- 100%** 定員乗車(座席につくか、吊革につかまるか、ドア付近の柱につかまることができる)。
- 200%** 体がふれあい相当圧迫感があるが、週刊誌程度なら何とか読める。
- 150%** 広げて楽に新聞を読める。
- 250%** 電車のゆれるたびに体が斜めになって身動きができず、手も動かせない。
- 180%** 折りたたむなど無理をすれば新聞を読める。

朝ラッシュ時間帯の千葉方面から都心部へ向かう列車の状況



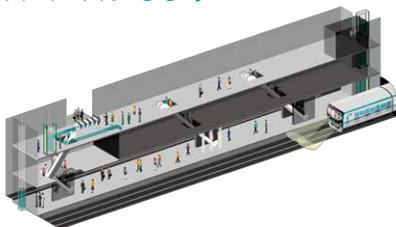
駅構内を改良し、日比谷線への乗り換えをスムーズにします



T11 茅場町駅 改良工事

2018年度 完成予定

駅構内を改良し、ご利用のお客様の乗降と流動をスムーズにします



T13 木場駅 改良工事

2020年度 完成予定

ホームを増設することで地上部で蓄積した遅延をリセットします



T15 南砂町駅 改良工事

2020年度 完成予定



詳しくは次のページから
解説いたします。

この3駅の工事をはじめ、さまざまな取り組みで遅延の解消に努めてまいります。

南砂町駅

遅延解消に向けて、
駅が大きく生まれ変わります。

T15 南砂町 駅改良工事 2020年度 完成予定

工事の内容 1

ホームの幅広及び
階段・エスカレーターの増設

期待される効果

ホームの混雑緩和及び
乗降時間短縮による遅延防止

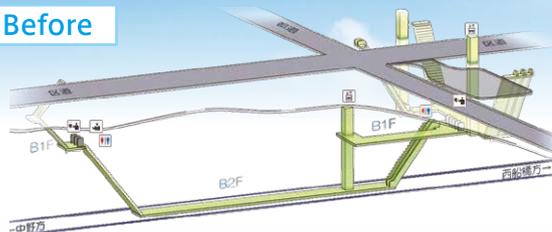
工事の内容 2

ホームの増設による2面3線化

期待される効果

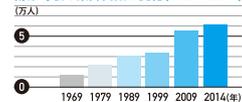
同一方向の列車が
相互に発着することにより
遅延の防止を図ります

Before

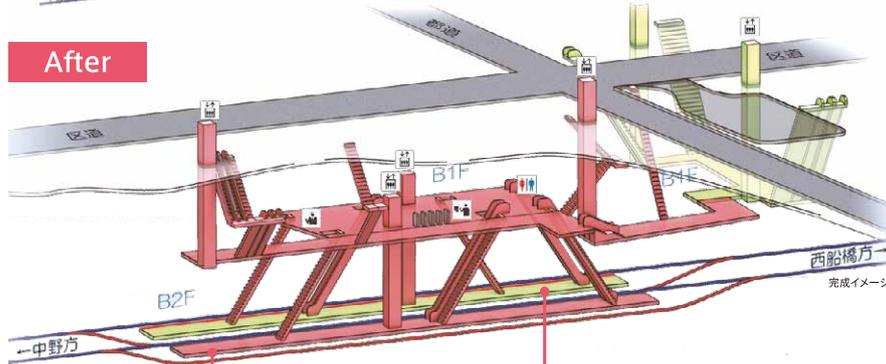


Pick Up Data

南砂町駅の乗降員数の変化(1969-2014)
(万人)



After

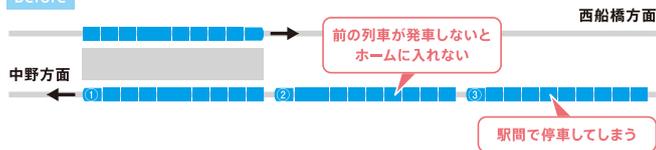


ホームを1面2線から
2面3線に増やす

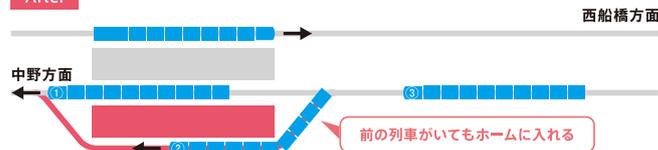
ホームの幅広を
実施する

2面3線化の効果

Before



After



大規模改良工事のことが
よくわかる!

T X-ROAD・スナチカ
工事インフォメーションセンター・Renovation Work Information Center

南砂町駅2a出口より徒歩すぐ



東西線で進む大規模改良工事について年表やジオラマシアター、写真パネルなどを展示し、わかりやすく紹介しています。また沿線のお客様に東京メトロに親しんでいただけるよう、地下鉄シミュレーターの体験コーナーや、キッズコーナー、歴史コーナーなども設置しています。



【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで) 【入館料】無料
【休館日】毎週月曜日(祝日・振替休日となる場合はその翌日)年末年始 12月30日~1月3日

木場駅

新たな空間を生み出す
世界初の工事が進んでいます。

T13 木場駅 改良工事 2020年度 完成予定

工事の内容

ホームの拡幅及び
エスカレーター・エレベーターの増設

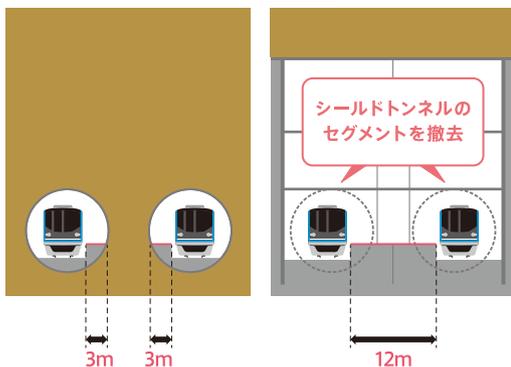
期待される効果

ホームの混雑緩和及び
乗降時間短縮による遅延防止

ホームの拡幅(シールド解体部)

Before 現状

After 改良工事完成後



ホームの幅が3mから12mに広がります。

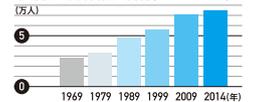
木場駅は日本で初めてシールド工法で建設された駅です。今回の改良工事は地下で列車を運行しながら地上からの掘削を進め、既設のシールドトンネルを解体し、新たな空間を生み出す世界初の工事です。

Before

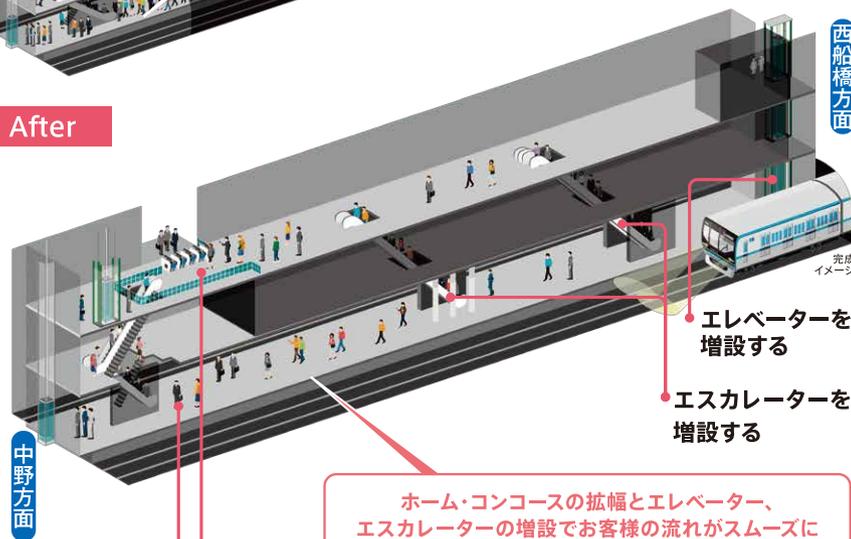


Pick Up Data

木場駅の乗降員数の変化(1969-2014)
(万人)



After



コンコースを拡幅する お客様の流れを分散します

ホームを拡幅する ホーム中野寄りを片側3mから6mに広げます

私の好きな東西線 1

運転士 東西線乗務管区 月館 範将

つきだて のりまさ

私は門前仲町駅周辺の雰囲気大好きです。休日はこの街の名所を巡り、美味しいものを食べ、地域の方とのふれあいを楽しんでいます。深川はいつでも活気があり、元気もらっています。特に富岡八幡宮のお祭りの時期は街全体が盛り上がり、パワーを一番感じます。そんな江戸情緒と人の魅力にあふれる街です。

葛西駅あたりでは最近おいしいカレー屋さんが増えています。



▲深川不動尊は門前仲町駅すぐ。隣には富岡八幡宮も。



茅場町駅

限られた空間を有効利用して
新たな流動を生み出します。

茅場町駅 改良工事 2018年度 完成予定

工事の内容

ホームの延伸及び
エレベーター・エスカレーターの新設

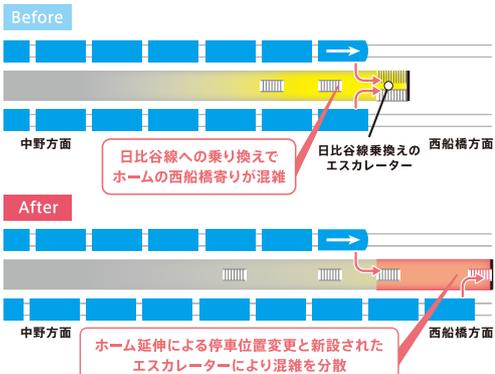
期待される効果

ホームの混雑緩和及び
乗降時間短縮による遅延防止

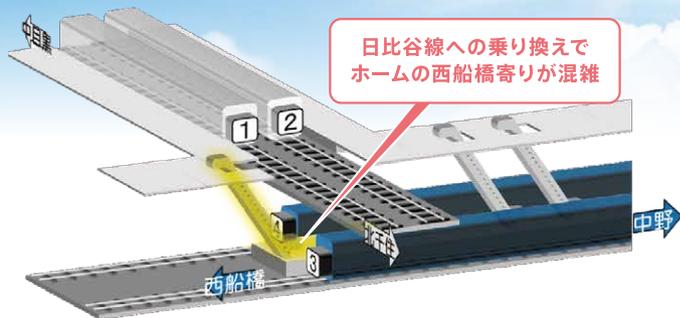


ホーム完成イメージ

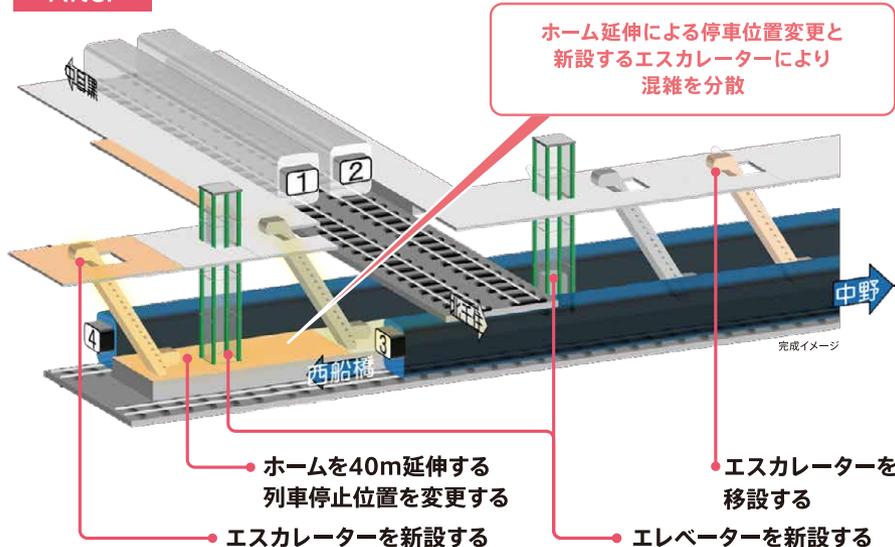
停車位置の変更



Before



After



私の好きな東西線 3

駅係員 日本橋駅務管区 いとう しずか 伊藤 静

駅周辺は江戸時代の面影を残す老舗が今も残っており、コレド日本橋・コレド室町に代表される新たな商業施設の開業も進み活気に溢れています。改札口で勤務していると、これまでより若いお客様が増えてきたように感じます。日本橋には「日本国道路原標」や「麒麟の像」など、歴史を感じるスポットがたくさんあります。美味しいお店も多いので、休日にぜひお出かけください。

日本橋のたもとから水上バスも出ています。



▲日本橋全景。橋の中央には麒麟の像(写真右)がある。



もっと便利に、快適に。 東西線で進むさまざまな取り 組みをご紹介します。

駅改装

T08 竹橋 改装工事を進めています

開業当時(1966年)の面影を残す駅構内をリニューアルし、バリアフリー化します。



T09 大手町 駅改装工事を進めています

駅周辺にある青く映える高層ビルの「ガラス」をイメージしたデザインです。



T23 西船橋 駅改装工事を進めています

ホームとコンコースのリニューアルを進めています。



「東西線ソーラー発電所」計画

- 中野
- 落合
- 高田馬場
- 早稲田
- 神楽坂
- 飯田橋
- 九段下
- 竹橋
- 大手町
- 日本橋
- 茅場町
- 門前仲町
- 木場
- 東陽町
- 南砂町
- 西葛西
- 葛西
- 浦安
- 南行徳
- 行徳
- 妙典
- 原木中山
- 西船橋

設備改良

T02 落合



T06 飯田橋



東京メトロの一步進んだ 取り組みをご紹介します!

T11 茅場町



出入口の防水対策

「東西線ソーラー発電所」計画を進めています。

東京メトロでは、東西線地上駅8駅(西葛西駅~西船橋駅)に太陽光発電システムを導入する「東西線ソーラー発電所」計画を展開しています。行徳駅(2014年3月完成)、西船橋駅(2014年度中に完成予定)の導入で全計画が完了します。発電された電力は、各駅のエレベーター、エスカレーター、照明、空調などに使用しています。



私の好きな東西線 3

車掌 東西線乗務管区 内田 和夫

妙典駅近くの江戸川河川敷は、魚釣りや潮干狩り、バーベキューなどができるので気軽にアウトドアを楽しみたい方におすすめです。天気の良い休日は家族連れなどでいつも賑わっています。私は毎日のように東西線を往復しているので、再開発で大変雰囲気が変わった中野駅周辺も、とても気になるスポットです。近々訪れてみたいと思っています。



▲江戸川の河川敷では潮干狩りや釣り、BBQが楽しめる。

ご家族連れなら
地下鉄博物館も
楽しいですよ。



5000 series



▲引退時の姿

5000系は東西線開業時に導入された車両で、17年間にわたり増備されました。開業時は3両編成でしたが路線延伸とともに7両編成になり、最終的には混雑緩和のため10両編成となりました。5000系は2007年に東西線から引退しましたが、一部は2006年にインドネシアに譲渡され、現在もジャカルタで通勤電車として走っています。



▲登場時の姿

05 series

05系は東西線の輸送力増強と5000系の置き換えを目的に導入した車両で、1988年より登場しました。車体には「スピード感」を重視したデザインが採用されました。また05系は製造時期によりさまざまなバリエーションが存在しています。



▲1988年-1994年製造車両の前面デザイン



▲1999年-2004年製造車両の前面デザイン



15000 series

15000系は2010年に導入された新型車両です。すべてのドアをワイドア化して、駅での乗降時間の短縮を図りました。



07 series

転属してきた07系

07系は1993年に有楽町線でデビューしました。2006年に東西線に転属され、スカイブルーの帯をまわって活躍しています。



有楽町線時代のデザイン▶



駅に着く前に、ご利用路線の「今」を確認。

運行情報メール配信サービスを提供中!

運転見合わせや15分以上の遅延など、ダイヤに乱れが発生した場合には、ご登録内容に合わせて運行情報をメールで配信します。



- 1 他社路線の情報も配信します。
JR中央・総武線 各駅停車も! 東武高-speed線も!
- 2 今、知りたい情報を、お届けします。
- 3 1回の登録で、後は手間いらず。
- 4 登録時間中の遅延情報の配信。

ご登録は <http://www.tokyo-metro-train-mail.jp>
簡単 無料 東京メトロ 運行情報メール 検索

※メール受信およびサイト接続に付する費用は、お客様のご負担になります。

東京メトロではTwitterアカウントでも路線別に運行情報を発信しています

子供も大人も楽しめる

一度は行ってみたい! 地下鉄博物館

地下鉄の歴史から新しい技術まで、「触れて、見て、動かして」学習できる参加型ミュージアムです。日本で初めて走った地下鉄の実物が展示してあったり、模型電車が動くメトロパノラマなど見どころたっぷり!



大人気 リアルな運転シミュレーター



ご利用案内

- 最寄駅 東京メトロ東西線葛西駅(快速列車はとまりません)下車すぐ
- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日、8月第1・2週目の月曜日は開館) 年末年始(12/30～1/3)
- 入館料 一般大人:210円 こども:100円(※満4歳以上 中学生まで)